



カタカタ通信

第186号

「巢の改築」

2025年7月21日

巢台を改築するにあたって、この春は巢の位置が展示ケージの隅にあり、壁に近すぎっていたのが課題でした。来季に向けて壁から遠ざけたいのですが、どうやって距離を取ろうかと頭を抱えていました。せっかく気に入った今の場所を変えすぎて、落ち着かなくなってしまう。



いったん完成した巢台

ります。角の2辺に斜めに板を張ろうとしましたがなかなか難しく、こんな形にしてみました。

出来上がりはしましたが、網側をふさいだ箱が高すぎたり、巣材を乗せる底の部分もやや狭すぎたりと、まだ改善できると感じました。

数日かけて改築中ですが、ここまでの間に、空と花の2羽は一度も巢台に乗りませんでした。ではまた直そうか、と思った日の昼頃に花が6回も巢台に乗っていました。（もし気に入ったのなら、少し様子を見るか……）と思いましたが、次の日は乗りませんでした。（乗らないのなら……）と直そうとすると、また2回乗りました。

それまでは天気がよくない日が続いていたのですが、この後は猛暑予報。コウノトリも人も無理をしてはよくないので、しばらく様子を見ることにしました。

この先のお話は、また次回。

最近の空と花の様子もご報告。

実は初めて、空の食欲がやや落ちました。いつもは1日600g以上食べていたのですが、500g前後になりました。食いしん坊だったのが、一般的な量で落ち着いています。

2羽の距離感は、この時期には今までで一番良いようで、比較的近くで過ごしています。クラッタリングもいつもは「♀だけ」と「2羽でのクラッタリング」が主でした。最近は「♂だけのクラッタリング」が多くなりました。夜間は、地面や池で落ち着いて過ごしています。換羽で抜け落ちた羽も70枚を超え、順調に生え変わっているようです。



エサを食べてすぐに立ち去る空(どこか満足げ?)



と、食べた後はすぐに水を飲みに行く花

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい